



20年分の感謝と、希望の門出。 令和5年 和水町 20歳の式典

1月4日(木)、和水町体育館で、令和5年和水町20歳の式典を開催しました。会場には、20歳を迎えられた77人(対象者92人)が、久しぶりに会う友人たちとお互いの晴れ姿を写真に収める姿や、思い出話に花を咲かせている姿が見られ、笑顔が溢れるひとときとなりました。

式典では、石原町長、米田教育長、高木町議会議長から20歳を迎えられた皆さんへ、温かいお祝いのメッセージが送られ、20歳の誓いのことばでは、対象者を代表して、浦田楓馬さん(馬場)と武田勇輝さん(板楠東)が、20歳を迎えた抱負や決意、お世話になった人たちへの感謝、和水町への思いなどを発表されました。

20歳という人生の節目を迎え、大人としての新たな一歩を踏み出された皆さんの今後益々のご活躍を期待しています。

代表者意見発表 浦田 楓馬さん

本日は、私達のためにこのような盛大な式典を開催して頂き、まことにありがとうございます。

今日こうして20歳の式典を迎えることが出来たのは、両親や家族、先生方や友人達また数え上げればキリがないくらい、沢山の方々への支えによるものだと思っております。

20歳の式典を迎えた今、皆さんは20年間を振り返り、何を感じますか？私は、多くの方々へ感謝の気持ちと、あつという間違ったなと感じています。

私は現在、高校を卒業してから愛知県に就職が決まり、社会人として愛知県で暮らしています。私は社会人2年目ですが、社会人として沢山の事を学ぶことが出来ました。

さて、今回、私が誓いの言葉を任されるということで、私自身の20年間を振り返ったところ、この20年間で色々な事を学ぶことが出来ました。私は20年間を振り返った中で特に伝えたいことが2つあるので、皆さんにこの場を借りて伝えたいと思います。

まず、1つ目は、感謝する気持ちです。私は先ほども伝えたとおり、今までは愛知県で暮らしています。しかし、親元を離れ、生活をする中で、今まで当たり前のようにやっていたことが出来た。今、20年間を振り返ると自分の傍には、常に両親がいて、両親に支えられて生きてきました。両親には、沢山迷惑をかけたと思いますが、もう私は成人を向かえたので、今まで迷惑をかけた分、それ以上に恩返しをして、立派な親孝行が出来るように、これから頑張っていきます。皆さんも20年間を振り返ると両親の存在は自分の中でとても大きかったと思います。普段、恥ずかしくてあまり感謝の気持ちを伝えることが出来ていない人も、ぜひ「ありがとう」の一言でも沢山の愛情を注いであげられた両親に伝えて欲しいです。

2つ目は、挑戦するという事です。私は、高校を卒業し、就職の道を選びました。仕事はきつ、辛いことや、色々な選択に迫られる場面もあります。そんな時、私は、自分の直感を信じ、失敗を恐れず挑戦し続けてきました。挑戦することにより、自分に誇りを持って挑戦することが多々あったと感じています。是非、皆さんにも挑戦する気持ちを大切にしていきたいです。

最後になりましたが、まだまだ未熟な私達です。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。そして、多くの方々に感謝すると共に、この20歳の式典に携わってくださった皆様にお礼をし、代表挨拶の言葉とさせていただきます。

代表者意見発表 武田 勇輝さん

本日は、私たちのために、何日も前から式典の準備をいただいただき本当にありがとうございます。また、お祝いや激励の言葉をいただきました皆様、ご出席賜りました皆様、誠にありがとうございます。20歳を迎えた私たち対象者を代表いたしまして、少しだけお話をしようと思います。

このような世界情勢の中、無事に20歳を迎えることができ、私たちは恵まれているのだとつくづく思います。20歳の節目を迎え、これまで歩んできた道を振り返ってみると、長いようであっという間でした。そのように思えるのも、この20年間がとても濃密で、有意義であったためだと思います。いまだ出会ったすべての人、すべての出来事に感謝しています。いまだありがとうございます。そして、これからもよろしくお願ひします。

中学校を卒業して以来、それぞれが異なる道に進み、私のようにまだ学生の人や、就職し始めている人もいます。道は違ってもそれぞれ場所、それぞれの立場で自分の行動に責任をもち、社会の一員として日々奮闘していることでしょう。

おぼろげながら、私は小学生の時に成人式へ挨拶をした行った記憶があります。その時は周りに大きな人だらけでとても緊張していましたが、今では私がその大きな人になり、こうして成人式へ帰ってくることで、とても感慨深いです。

中学校卒業後、和水町を離れましたが、連絡をくれる友達がいり、大河ドラマのニュースが入ってきたり、つながりが切れることはありませんでした。地元として、いつまでも私の心に残るのだらうと思っています。

私は、これから大活躍するエンジニアになる予定ですが、何か町で行うときにエンジニアが欲しいとなれば、その時は私に声をかけてください。喜んで、私の力を貸します。

これから先の不安定な世界で、私たちは悩み、傷つきながらも小さな希望を信じながら、一歩ずつ前に進み、勇ましく生きていくことを誓います。

私たちは、本日、20歳という、人生の大きな節目を迎えましたが、社会人としてまだまだ未熟です。どうか、これから温かい目でご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

簡単な言葉ではございますが、以上で代表の挨拶とさせていただきます。

